

# 「真心」プレゼント

## 大崎の「守る会」がXマス会

### 障害児にケーキやお菓子

「大崎重症心身障害児(者)を守る会」は二十三日、大崎市古川のFプラザでクリスマス会を開

いた。障害のため通常のケーキが食べられない子どもには、ベースト状の特製デザートが用意されるなど、心のこもった時間を楽しんだ。

七組の会員家族のほか、会を支援するジャスコ古川店の店員ら九人が参加。クリスマスソングを歌う中、同店の佐々木幸成CSマネジャーがサンタクロース姿で一人一人にお菓子のプレゼントを手渡すと、子どもたちは満面の笑みで喜びを表現した。

同店は毎月十一日、黄色いレシートを発行。買

い物がレシートを専用箱に入れると、その合計額の1割が地元市民団体に還元される仕組みで、今回もこれを原資に料理や飲み物を提供した。

守る会の大友祥子会長は「親は子どもに付きつきりなので、会で出し物をしようにもできない。こうした物心両面での協力は本当にありがたい」と感謝した。



サンタさんからのプレゼントに大喜び